

注意

「傷害または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- 本製品は観賞魚用ヒーターを接続して水温を調節するサーモスタットです。観賞魚用クーラーや他の家電製品など観賞魚用ヒーター以外は絶対に接続しないでください。火災や感電事故、故障の原因になります。
- 本製品はプラスチック製です。落とすと割れたり内蔵の機械類が破損し、誤作動につながりますので取り扱いには注意してください。また、落としたり、ショックを与えてしまった場合は、こまめに水温をチェックするか、1週間ほど生体の入っていない水槽で異常がないか確認してください。
- 直射日光があたる場所や振動、ほこり等のある場所では使用しないでください。
- 本製品に電波や磁気が発生するものは絶対に近づけないでください。また、マグネットを使用した商品(主にコケ取り用マグネット)などは近くに設置しないでください。誤作動や故障の原因になります。
- オゾン発生装置や殺菌灯などを使用されるとゴム・樹脂パーツを著しく劣化させ、故障の原因になります。
- 引火性のもの(シンナー、ガソリン、ベンジンなど)の近くでは使用しないでください。爆発や火災の原因になります。
- お手入れの際には、シンナーや洗剤などの薬品を使用しないでください。万一それらが付着したときは十分に拭き取ってからご使用ください。シンナーや洗剤などは本品だけでなく、魚や水草にも有害です。
- 本製品は観賞魚飼育を目的として作られています。他の目的には、絶対に使用しないでください。
- 本製品の電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに電源プラグを持って引き抜いてください。感電、ショート、発火の原因となります。
- ピラニアなど歯の鋭い魚や大型魚を飼育される場合は、センサーコードを傷つけないよう保護してください。誤作動や故障の原因になります。
- 必ず、1日1回は水温が適切かどうか水温計(別売)で確認してください。また、水温計の種類による多少の温度誤差やデジタル水温計の電池切れ、または故障による誤表示にご注意ください。
- 観賞魚の飼育に適さない汚濁した異常水質の水や観賞魚用品以外の薬品が入った水槽では使用しないでください。故障の原因になります。魚や水草にも有害です。
- 本製品は水温を下げる機能はありません。外気温が本製品の設定温度より高い場合は、ヒーターが作動しなくても水温が設定温度より高くなります。

特長

- パワーのON/OFF状態がLEDランプで一目でわかる。
- 温度設定がしやすい。操作カンタン大型ダイヤル採用。
- 発火事故を未然に防止! 難燃性樹脂プラグ採用。
- ±1.0℃精度、高感度センサー採用。
- 器具の誤作動を防ぐ耐ノイズ設計。
- 1年間保証付(海水:6ヶ月)

◆オートヒーターとの接続OK!◆

本製品はオートヒーターとの接続が可能です。万一、オートヒーターのセンサーが故障した場合でも、本製品と接続しておけばオートヒーターの誤作動による事故を防ぐことができ、より安全です。例えばご使用になるオートヒーターが26℃固定型では、本品が制御できる温度は26℃までです。それ以上の制御はできません。

オートヒーターの水温制御範囲以上に水温を合わせることができません。



- 本製品に接続したヒーターで、低い水温から飼育適温まで温めていく場合は、本製品の本体が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

仕様

パワーサーモ	ET-300X	ET-600X	ET-1000X
定格消費電力	2.6W	2.6W	4.3W
電源	AC100V 50/60Hz		
制御方式	電子制御式サーモスタット 制御範囲19℃(LOW)~31℃(HI)	電子制御式サーモスタット 制御範囲15℃~35℃	電子制御式サーモスタット 制御範囲15℃~35℃
ヒーター用コンセント	1口 2~300Wまで	3口 合計2~600Wまで	3口 合計2~1000Wまで

保証について

■本品には下記の保証規定を設けています。

本保証書は販売店で購入いたしますので、所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管しておいてください。

SAMPLE

●保証期間終了後、および保証期間内であっても、以下の場合は保証いたしません。

1. 誤った組み立て、取り付けによる故障、および損傷。
2. ご使用上の不注意、過失による故障、および損傷。
3. 不当な修理や改造による故障、および損傷。
4. 日露の点検、お手入れの不備による故障、および損傷。
5. 定格数値以上のヒーターを接続したことによる故障および損傷。
6. 家庭以外(船舶や車両などへの搭載)で使用されたことによる故障、および損傷。
7. 屋外で使用したことによる故障、および損傷。
8. 観賞魚用水槽の水中以外で使用したことによる故障、および損傷。
9. 異常水質による故障、および損傷。
10. オゾン発生装置や殺菌灯などの使用によるゴム・樹脂パーツの劣化、および損傷。
11. 観賞魚用薬品以外の薬品が入った水槽で使用したことによる故障、および損傷。
12. 指定以外の電源(電圧、周波数)による故障、および損傷。
13. 火災、地震、水害、公害、落雷など、その他天災地災による故障、および損傷。
14. 魚類など生体の死亡や病気、および水草の枯れ。
15. 本保証書の提示がない場合。
16. 本保証書にお客様名、お買い上げ日、販売店名の記入がない場合。
17. 本保証書の字句を書き換えられた場合。

- 本保証書は再発行はいたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- 保証修理をお受けになるときは、お買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。
- 保証修理をお受けになるときは、本保証書を提示してください。
- 保証期間終了後の修理につきましては、お買い求めの販売店、または当社までご連絡ください。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in JAPAN

この保証書は、明示した期間、条件において無償修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※製品の改良又は、その他諸事情により断りなく製品の仕様を変更する場合があります。

■QRコードを読み取るだけで簡単登録!



コトブキ工芸公式アカウントをフォローし友だちや会員登録をしていただく、新製品情報やお得なキャンペーン情報をいち早くお届けしております。



お客様相談窓口 ☎0743-66-2777

受付時間: 土日祝を除く、月~金曜日

AM9:00~12:00 PM1:00~4:00

本書の記載内容の一部または全部を、無断転載することはかたくお断りします。All Rights Reserved, Copyright © 2020 Kotobuki Kogei Co., Ltd. 120522

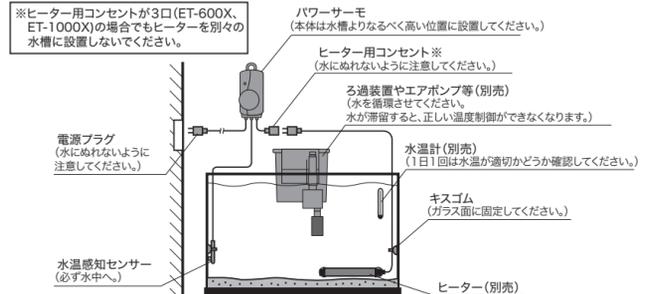
取り付けかた



- 本製品はプラスチック製です。落とすと割れる場合があります。また、割れていなくても内蔵の機械類が破損し誤作動につながりますので取り扱いには注意してください。
- 魚や水草に悪影響をあたえる油や、洗剤などが付着しないように注意してください。

■以下の手順で、パワーサーモの取り付けを行ってください。

※本製品には、別売のヒーターが必要です。



- 1 水温を感知するためのセンサー部をキスゴムで水槽の内側に取り付けます。(センサー部は、ヒーターから離れたところに取り付けてください。)
- 2 ヒーターを水槽内の水の流れるあるところに設置します。(水の流れないところに設置すると、水槽内で温度差が発生する場合があります。)ヒーター本体とコードの固定は、水槽内側のガラス面に付属のキスゴムで行ってください。設置例として上図をご参考ください。
- 3 水槽に水が入っているかを確認し、ヒーターの電源プラグを、パワーサーモのヒーター用コンセントに差し込みます。(ヒーター用コンセントには、ヒーター以外のプラグは差し込まないでください。誤作動を起こします。)
- 4 パワーサーモの電源プラグをご家庭のAC100V電源(一般家庭用)に差し込んでください。
- 5 水温計をヒーターから離れたところに設置してください。(毎日、適正な水温になっているか確認してください。)
- 6 パワーサーモのダイヤルを調節し、お好みの温度設定にしてください。

- ヒーター用コンセントが複数ある機種でも、ヒーターを別々の水槽に設置しないでください。正しい温度管理ができます。誤作動の原因となります。

※別売のヒーターは消耗品です。1年を目安に交換してください。(海水使用の場合は6ヶ月です)

- 水温感知センサー 水温感知センサーは、必ず水中の水が循環している所に取り付けてください。空気中に出ると、空気中の温度を感知してしまい誤作動を起こし、生体の死亡や事故の原因になります。

- 電源プラグをコンセントに差し込むときや、コンセントから抜くときは、ぬれた手で触らないでください。また、コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故の原因になります。

《設置の際のご注意》

◆水温計は、ヒーターから離れた位置に取り付け、適正な水温になっているか定期的に確認してください。また、水温計の種類による多少の温度誤差やデジタル水温計の電池切れ、または故障による誤表示にご注意ください。

◆本体や水温感知センサーの近く(水槽用マグネット(コケ取り用)などを設置しないでください。強い磁力で内蔵回路が誤作動する場合があります。



◆水温感知センサーは、ヒーターから離れた位置で、水が循環している所に取り付けてください。



温度調整のしかた

■以下の手順で、水温調節を行ってください。

- 1 飼育水が魚に適した水温になっているか確認します。(一般的な熱帯魚は26℃前後)
 - 2 適した水温になっていないときは、水温調節ダイヤルを設定する水温に合わせます。
 - 3 その後は設定した水温にむけて、自動的にON、OFFを繰り返して維持します。
- 日に一度は水温を確認してください。水温の確認は、必ず水温計で行ってください。
 - ◎温度設定を変えたいときは、水温調節ダイヤルで調節してください。

- 本製品に接続したヒーターで、低い水温から飼育適温まで温めて行く場合は、本製品の本体が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。

※本製品には、水温を外気温よりも下げる機能はありませんのでご注意ください。

■使用ヒーターの目安

水槽	水容量	ヒーター容量の目安
40cm以下	約26ℓ以下	80W
45cm以下	約44ℓ以下	110W
60cm以下	約64ℓ以下	160W
60~75cm以下	約110ℓ以下	220W
90cm以下	約150ℓ以下	300W
120cm以下	約300ℓ以下	600W
180cm以下	約500ℓ以下	計1000W

※適応水容量はあくまでも目安です。地域別・設置場所等環境によって異なりますのでご注意ください。(周囲温度が15℃に満たない場合は希望水温にならない場合があります)

設定水温より	ヒーターへの出力	LEDランプ
低くなった時	ON	(赤色)点灯
高くなった時	OFF	(赤色)消灯

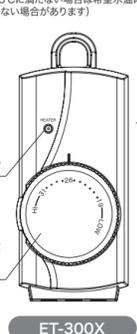
※ヒーター断線(または通電遮断機能作動)の有無に関係なくランプは点灯・消灯します。

使用できるヒーター容量

ET-300X/300Wまで
ET-600X/合計600Wまで
ET-1000X/合計1000Wまで
容量以上は絶対に使用しないでください。

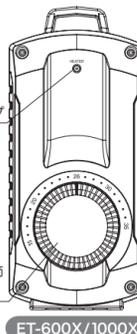
LEDランプ

水温調節ダイヤル



LEDランプ

水温調節ダイヤル



※設定した水温になるまで季節や水槽の大きさによっては、数時間かかることがあります。

※外気温15℃以下の環境下では外気温に左右され、設定した水温にならない事があります。また、設定した水温以上の環境下では外気温に左右され、設定した水温にはなりません。

※ヒーターの適応水容量以上での使用では能力の不足により、設定した水温にならない事があります。

※ヒーターを正しく使用しているのに関わらず、水温が設定した水温よりも3~5℃以上下がった場合は、ヒーターが断線(故障)している恐れがありますので、新しいものに交換してください。(ヒーターは消耗品です。)

- 特に春~夏にかけて気温が上昇し、設定した水温よりも外気温が高くなる場合は、ヒーターが作動しなくても外気温につられて水温が高くなりますが、本製品の故障によるものではありません。本製品には、水温を下げる機能はありません。
- 本製品をご使用の際は、必ず水槽内の水を循環させてください。
- 通電中、または通電停止直後のヒーターの側に紙や布など燃えやすい物は置かないでください。火災の原因になります。

お手入れのしかた

■1ヶ月に1度は以下の手順で、本製品のお手入れを行ってください。

- 1 本製品の電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 ヒーター用コンセントからヒーターの電源プラグを抜きます。
- 3 本体、ヒーター用コンセント、電源プラグは、かたく絞った柔らかい布できれいに拭き、水温感知センサーとヒーターは、スポンジ、または柔らかいブラシなどで水洗いします。



- 作業をするときは、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。
- 電源プラグをコンセントに差し込むときや、コンセントから抜くときは、ぬれた手で触らないでください。また、コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。感電事故の原因になります。
- 電源プラグを抜いた直後は、本製品で使用しているヒーター部分が熱くなっていますので、十分冷却(約15分間)させてから取り出してください。
- ヒーターを使用しているヒーター部にカルシウムなどの汚れが付着し、そのまま放置するとざらざらした白色もしくは茶色がかった汚れになります。ヒーター部の不良ではありませんが、故障の原因になる場合もありますのでブラシなどで定期的にお手入れをしてください。また、お手入れの際にはヒーター部を破損させないようにご注意ください。(カルシウムを放置すると落ちにくくなりますのでこまめにお手入れを行ってください。)
- 本体のお手入れの際には、水にぬらしたり、水没させたりしないでください。
- 本体を照明器具など、発熱する物の上に置いて使用しないでください。
- センサーコードを引っ張らないでください。
- 夏期は水槽から取り出し、お手入れを行った後に保管される事をお勧めします。